

集中線定規

集中線や一点透視図法の作画にご利用いただけます。

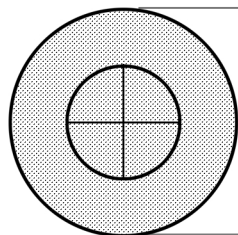
特許第5009436号

取扱説明書

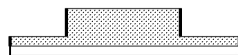
製品構成

① ボタン

② 定規板



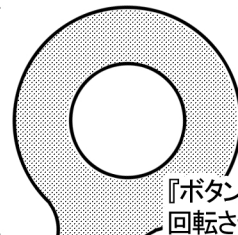
中心に十字線が
印字してあります。



ボタンの裏面は弱粘着性のシールになっています。

※シール面は透明なフィルムで保護しています。

使用前にフィルムを剥がしてください。



『ボタン』にはめて
回転させます。

30mm

225mm

180mm

使い方

- 予 集中線を描きたい部分に鉛筆などで
消失点(集中線の中心)のアタリを描きます。
- 1 『ボタン』を「消失点」と「ボタン内の十字線」が
重なるように置きます。
 - 2 『定規板』を『ボタン』にはめます。
※端(エッジ)のある側を上にして下さい。
 - 3 ボタンを中心に『定規板』を回転(スライド)させて、
集中線を描きます。
 - 4 描き終わったら『定規板』、『ボタン』の順に
原稿から外します。

後 「予」で入れたあたりを消します。
※必ず水平な紙面をご利用下さい。
紙面が凸凹していると、うまく回転できません。

定規の直線部分には
端(エッジ)を施しています。

※本製品(集中線)の筆記
可能範囲は、端(エッジ)のある
消失点から20~200mmの
範囲です。

片付け方

ボタン 下面のシール部分をゴミや汚れがつかないように
フィルムシートなどで保護して保管してください。
※油分がつくと粘着力が低下する場合があります。
シール面をハンドクリームなどを付けている手では扱わないでください。

定規板 折れ曲がったり折れたりしないよう水平な場所で保管してください。
定規についた汚れは固く絞ったふきんなどで拭きとってください。
※アルコールなどでの掃除は変色や変質のおそれがありますのでご注意ください。

《ボタンについての注意》

○使い始め(シールの粘着力が強かったら)

ボタン下面の弱粘着性のシールは長くお使いいただけるよう
使い始めの粘着力がかなり強い仕様になっております。
使い始めは予め裏紙などで粘着力を試してからお使いください。

○シールの粘着力が落ちてきたら(粘着力が弱くなったら)

使用を続けていくと、シール面付着した微細なゴミなどにより
粘着力が低下し、原稿からはがれやすくなる場合があります。
粘着力はゴミを取ることで回復します。
ボタンのシール面が汚れたら水洗いなどで汚れをおとしで自然乾燥させて下さい。

《タブレットでの使用について》

本製品は紙上での使用を
推奨しております。
タブレットなどで使用する場合は
画面を擦らないように、
あて紙やフィルムなどで
保護してからお使い下さい。
また、画面上ではボタンが外れにくい
場合がございますのでご注意ください。

その他くわしい情報は下記Webページ内で公開しています。

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~mamiyoi/s-liner.html>

要望などがございましたら一報いただければ幸いです。
本品は断わり無く改修する場合がございます。

-集中線定規-

制作:まみよい 作り主:伊藤のゆ

連絡先:mamiyoi@kxb.biglobe.ne.jp

取説発行:2016/5/1(第12版)

URL:<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~mamiyoi/>

漫画(イラスト)制作以外の奇抜な使用はおすすめておりません。無断転売、複製禁止